

2012.7

NETWORK KITAKYUSHU

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」にホール・図書館がオースン!!

黒崎地区では、平成20年7月に内閣総理大臣の認定を受けた「北九州市中心市街地活性化基本計画(黒崎地区)」に基づき、賑わいあふれる副都心づくりを進めています。

その核となる「文化・交流拠点地区」で整備を進めてきた黒崎ひびしんホール、八幡西図書館などの施設が7月1日にオープンしました。

この地区の整備は、『クロッシング黒崎』~人と文化が集い交わる黒崎のグリーンスクエア~というコンセプトのもと、約3.3 haの広さをもつ九州厚生年金病院跡地および市営岸の浦団地跡地を活用したもので、

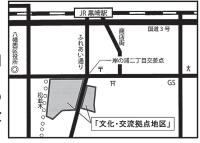
PFI事業(BTO方式)という手法を採用しています。これにより整備費を削減し、効率的な運営を行うことで市民サービスの向上を図ります。

※PFI事業…民間の資金と経営能力、技術力を活用して公共施設整備を行う手法

※BTO方式…民間の事業者が施設を建設し、完成後に所有権を市に移転し、民間 事業者が維持管理、運営を行う事業方式

また、それぞれの施設を、環境モデル都市のシンボル施設と位置づけ、太陽光発電の 設置やヒートアイランド対策など、積極的に環境負荷の低減を目指す環境配慮型施設 となっています。





〈黒崎ひびしんホール〉



〈八幡西図書館〉



このホールは、公共施設などの名称に企業名・商品名をつけて命名権料を得るネーミングライツ(命名権)を導入しています。

文化活動発表など晴れの舞台に相応しい、大・中2つのホール(800席、300席) や日常の活動を支える練習室などを併せ持った文化施設で、屋外にもステージ を設置し、ホール前の公園で開催するイベントと一体的に利用することもでき ます。ホールは各座席からの見やすさ、聞きやすさを確保するとともに、誰も が使いやすいバリアフリーに配慮しています。

【面積】約8,800㎡(駐車場120台) 【階数】地上3階建、地下1階

この図書館は最大約30万冊の蔵書能力をもち、視聴覚資料貸出のほか、ICタグを活用した自動貸出機や公衆無線LANの導入、畳の読書コーナー(桜屋離れ座敷の内部空間復元)の設置など、これまでの市立図書館にはないサービスを提供いたします。

また、1 階には学習室やグループ学習室のほか、カフェテリアも併設されています。

【面積】約3,700㎡(駐車場42台) 【階数】地上3階建

7月はオープニングマンスということで、たくさんの方々にご利用いただけるよう、黒崎ひびしんホール、八幡西図書館において、週末ごとにピアノリサイタル、講演会、絵本の展示や読み聞かせなどのさまざまなイベントが企画されています。ぜひこの機会にお立ち寄りください。

【問い合わせ先】北九州市建築都市局都心・副都心開発室 担当:河野、村上 TEL:093-582-2502

◇ 2012年版中小企業白書 ダイジェスト ◇ ~震災からの復興と潜在力の発揮~

前編

今年の中小企業白書は、「我が国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから回復しつつあるものの、円高や世界経済の減速等の影響により、次第に回復の動きが緩やかになってきている。」と最近の経済動向を分析する一方で、「わが国中小企業は、大震災からの復興に向けて大きな役割を果たすとともに、海外展開、女性の活躍により潜在力を発揮し、円高、人口減少などの試練を乗り越えて前進していく」との見解を導き出しています。

本号では、第2部「潜在力の発揮と中小企業の役割」の中から、大震災からの復興に取り組む中小企業及び、海外展開や女性の活躍によって需要の創出・獲得に挑む中小企業の事例をご紹介します。

詳細は、中小企業庁のHP http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/120427hakusyo.htmlをご覧ください。

〈事例2−1−<u>14〉</u>

大震災当時、BCPの策定によりスムーズな復旧を実現し、顧客流出を防いだ企業

東京都品川区の株式会社国分電機(従業員214名、資本金8,000万円)は、ビルや工場等の電力系統を制御する配電盤等の製造・販売及び改修工事を行っており、茨城県と鹿児島県に生産拠点を構えている。

同社は、東京都のBCP策定支援事業(専門家の派遣事業)を活用して、2010年にBCPを策定した。

大震災時には、茨城県常陸大宮市に所在する茨城工場が被災した。その当時、茨城工場の責任者は不在であったが、BCPに基づき、代理責任者が指揮を執り、現場社員の安否確認連絡や誘導を行い、スムーズに行動することができた。また、本社では、「顧客流出を防ぐ」というBCP策定の目的に基づき、被災翌日から取引先顧客へ連絡を取り、同社の被災状況を説明することで、理解を得ることに努め、被災12日後には、生産能力80%での操業再開を実現し、顧客流出を防ぐことができた。

〈事例2-2-1〉

青紫蘇を活用して多彩な商品を開発・販売。海外では 高級化戦略が功を奏し、ブランド価値を高めることに成 功した企業

熊本県合志市の青紫蘇農場株式会社(従業員30名、資本金2,600万円)は、青紫蘇の加工・販売を行う企業である。生産情報公表JAS規格の認定を受けた青紫蘇を自社で栽培・販売するとともに、ドリンク類・調味料・麺類等、紫蘇の機能性を活かした様々な加工品を開発・販売している。

少子高齢化の進展に伴う国内消費の先細りに不安を抱いていた同社の吉川幸人社長は、中国や韓国等からの輸入 農産物について、自ら調査した経験をもとに、1991年頃から国産農産物の輸出の可能性に着目した。

2001年頃には、アジア新興国等の成長を現地で目の当たりにし、一刻も早く海外に進出すべきと考えるようになった。

米国、香港、シンガポール等での市場調査や現地での商 談会開催、海外バイヤーへの農産加工品の販路拡大等を 行った同社は、2006年度に香港への青紫蘇の輸出を開始した。2011年度現在、香港、台湾、シンガポール、英国、フランス、ドバイ、米国等世界9か国・地域に輸出しており、輸出額は、前年比3倍程度の大幅増が見込まれている。商社に頼らず、現地に直送することで流通を簡素化していることも、海外販路拡大に寄与しているという。

同社の輸出戦略は、レストランやスーパー等の各業態において、トップクラスの相手と取引することである。海外販路開拓に当たって、吉川社長は「相手国の食文化等を調査し、自社製品がど

のような業種・場所で売れるのかを見極めることが重要。そのためには、まず現地に行って、 高級店や一流店を自分の目で確かめる必要がある。」と指摘する。



〈事例2-2-21〉

女性の職域拡大により、社内の活性化に取り組むものづく り企業

滋賀県東近江市の株式会社寺嶋製作所(従業員130名、資本金1,800万円)は炊飯ジャーの内釜や電気機械器具等の板金プレス加工を行う企業である。

女性の職域拡大に取り組む前の同社の工場は、他のプレス工場と同様に、男性中心の職場であった。しかし、「ひたむきな努力」、「常にチャレンジ」を社是に掲げる同社の寺嶋嘉孝社長は、約10年前から安全性の高い機械設備を導入することにより、生産ラインでも女性が活躍できるよう、職場環境を整備した。

また、2007年には職場の風土改革に取り組み、就業規則の 見直しにより、パートから正規への転換を可能にした。

現在、同社の工場では20名近くの女性が生産ラインに配属されている。また、生産ラインの改善提案においても、表彰される 提案の多くが女性によるものとなっており、これらの提案は「省スペースでも生産効率を維持するという視点が明確。」と、寺嶋 社長は語っている。

さらに、プレス工場で必須となっているフォークリフトの運転についても、2名の女性が資格を取得した。



「食のスランド化」をサポートします!

一中小食品製造業の販路開拓と情報発信を支援一

北九州市は、中小食品製造業の販路開拓等を支援するために、平成24年度の新規事業である「ブランド 化戦略構築プロジェクト」の対象企業を募集します。

このプロジェクトは、北九州市における食の統一ブランドづくりを目指して、新商品開発に意欲的な中小食品製造業者を対象に、専門家の派遣や販路開拓の支援を行うものです。地元の食材などを活用して、北九州らしいブランドを生み出すとともに、地元中小企業のマーケティング力や商品化戦略の強化を目指します。また、下記のとおり、専門家を活用した販路開拓支援や情報発信を積極的に行っていきます。

【対象企業】 市内に事業所を有する中小企業者で、飲食料品の製造を行う方

【支援内容】

アドバイス	・マーケティングやデザインに関する研修会・勉強会の実施 など ・専門家による食のブランド化に係るアドバイス	
販路開拓と 情報発信支援	・北九州市ホームページにて支援企業及び商品の紹介 ・市役所における商品優先活用の促進 ・展示会やイベントにおけるPR など	
その他	・経済団体や研究機関の紹介、連絡 など	

【 費 用 】 専門家派遣にかかる費用は無料(商品開発等にかかる費用はご負担いただきます)

【支援期間】 平成24年8月~平成25年3月

◆申込期限 平成24年7月17日(火) ※詳細は、同封の折込みチラシをご覧ください。

【問い合わせ先】北九州市産業経済局中小企業振興課 担当:松林、吉武 TEL:093-873-1433

人とくるまのテクノロジー展 2012 (パシフィコ横浜) に出展! ~市内企業6社が、自動車産業に携わる技術者に"自社の製品と技術力"をPR~

北九州市と(公財)北九州産業学術推進機構中小企業支援センターは、地元企業の円滑な自動車産業への新規参入と取引拡大を図るため、平成24年5月23日(水)から25日(金)までの3日間、パシフィコ横浜で開催された『人とくるまのテクノロジー展2012』に市内企業6社とともに共同出展しました。

『人とくるまのテクノロジー展』は、自動車産業の技術者を対象とした展示会では国内最大級規模のもので、3日間で71,785名の来場者を集めました。

北九州市ブースでは、(㈱安川電機の最新式のEV用モータ・インバータを展示するとともに、パーツネット北九州会員企業5社の優れた製品や技術力をPRするため、各社とも説明員を配置しました。そのため、多数の自動車メーカーや、大手部品メーカーの担当者の方がブースに立ち寄り、説明員と熱心に商談や情報交換を行なっていました。

また、北九州産業学術推進機構カーエレクトロニクスセンターが産学連携で研究開発中の「自律走行車」の展示を行ない、多くの技術者の関心を集めていました。



〈自動車産業の関係者が多数来場〉

■共同出展した市内企業6社

石川金属工業㈱、㈱C&Gシステムズ、㈱戸畑ターレット工作所、戸畑鉄工㈱、㈱安川電機、吉川精密㈱

(50音順)

【問い合わせ先】北九州市産業経済局企業立地支援課 担当:倉本、中嶋 TEL:093-582-2065

貿易振興資金をご活用ください

北九州市では、貿易に必要な資金を融資して、中小企業の貿易振興を支援しています。

融資をご利用いただける方は、北九州市内及び周辺地区に事務所又は事業所を有し、原則として1年以上貿易業又は製造・加工業を営んでいる中小企業者です(本市周辺地区の中小企業者が本制度を利用出来るのは、北九州港又は北九州空港を利用する場合に限ります)。

	貿易資金	渡 航 資 金
融資限度額	1,500万円	50万円
融資対象経費	輸出入に必要な資金、諸掛り資金等	市場調査や商談等で海外渡航する際に必要な資金
期間・利率(年)	6カ月以内・1.55%	1年以内・1.55%

【問い合わせ先】 北九州市産業経済局貿易振興課 担当:小田、碇 TEL:093-551-3605

環境分野の海外での事業展開を支援します!

アジア低炭素化センターは、「グリーンアジア国際戦略総合特区」推進の一環として、市内中小企業を対象に海外で 販路開拓につながる実証試験、又は海外展開を想定したビジネスモデル構築のための現地での調査(FS)に要する 費用の一部を助成する「中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業助成金」の公募を開始します。

対象案件	低炭素に資する環境関連技術・製品(水、廃棄物・リサイクル、省エネルギー・新エネルギー等)
助成対象者	海外で実証試験、FSを実施する市内中小企業(中小企業基本法で定める中小企業)
対象経費	土木·建築工事費、機械装置費、保守·改造修理費、人件費、消耗品費、旅費、外注費等
助成金額	実証枠:助成限度額500万円、FS枠:助成限度額200万円(それぞれ対象経費の1/2以内)
助成期間	1年以内(平成25年3月31日まで)
申込期間	平成24年7月2日(月)~13日(金)17時必着

【問い合わせ先】 アジア低炭素化センター(事務局 北九州市環境局環境国際戦略課) 担当:増田、本島 TEL:093-662-4020、ホームページ http://www.asiangreencamp.net/

得意技術を「北九州技術マップ」に掲載しませんか

北九州市中小企業支援センターでは、24年版「北九州技術マップ」の発行を予定しています。

この冊子は、市内中小製造業などの技術、製品、試作対応企業等の情報を集めたものです(現行版は、380社掲載)。中小製造企業の皆様、この機会に御社の情報を掲載されませんか。

【申込み方法】 中小企業支援センターHPの申請様式ダウンロードページ(http://b2b.ktc.ksrp.or.jp/regist.doc) から申請書をダウンロードし、各項目をご記入のうえ、中小企業支援センターメールアドレス (info@ktc.ksrp.or.jp)に送信してください。

【申込期限】 平成24年8月31日

【問い合わせ先】(公財)北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター 担当: 吉崎、菊澤TEL:093-873-1430

創業塾の塾生を募集しています!

北九州商工会議所の『創業塾』では、創業までに知っておきたい基礎的なポイントを4日間に分けて解説します。 あなたのアイデアを具体化し、創業資金を借りる際にも役立つ自分自身の創業計画書が講義中に完成できます。 これからやるべき準備をスケジューリングして、夢の実現、事業の成功をぐっと近づける絶好の機会です。

【日 時】 平成24年7月24日(火)、26日(木)、31日(火)、8月2日(木)の4日間

18:30~21:00 ※7月31日のみ21:30まで

【場 所】 毎日西部会館9階ホール(小倉北区紺屋町13-1)

【対 象】 北九州市内及びその近郊で創業を予定している方、事業を始めて間もない方

【**申込み方法**】 北九州商工会議所のホームページをご覧ください。(http://www.kitakyushucci.or.jp/)

【問い合わせ先】北九州商工会議所 中小企業振興課 担当:伊藤、上坂元 TEL:093-541-0188